



大村海軍病院  
ベッドで  
私は思った  
人類は必らず  
滅亡する  
それは人間のもつ  
あくなき  
欲望でシ

## 被爆惨状絵図才50号

「大村海軍病院のベットの中で、  
人類は必ず滅亡すると」

私は、昭和20年8月9日、長崎市三菱兵器大橋工場において、原子爆弾によって負傷し、その日の午後10時30分頃だったと思います。大村海軍病院に入院しました。

私は、ベットの中で、得体の知れない病気で入院患者が、つぎつぎと、死んでゆくが……

次のような結論を下しました。

原子爆弾と云うものは、この広島、長崎が、一歩であり、云わばひな型であると思う。

この兵器が、つぎつぎにこれから改良され、又、発展して行くものと思う。そうすれば、この兵器はやがて人類を滅亡させることができる兵器となるであろう。

私どもの、キリスト教の予言に人類の滅亡の日のことが書かれているが、これぞ、人類を滅亡させるものだと思いました。

そして、又、この兵器の発展は、危険なものだと言う声も必ず出て来て反対運動も起るだろうが、結局は人類は滅亡するだろう……

それは何故か、人間には果てしなき欲望があるから、つい負けてしまうこととなるであろう、と思った。

また、潜水艦に核爆弾をつんで、洋上にほらかり降んで、ロケットによって、本土を攻撃すれば防ぐ方法はないのでは

ないか、

ところが、今日ポセイドンと云う恐ろしい兵器があるが、その原理は、私が51年前考えたアイデアと同じです。

なお、大村病院には、才15病棟がありました。

◎ 証言者 深堀 勝一(68歳)

長崎市 坂本

長崎県被爆者手帳友の会々長



## 被爆惨状絵図オタノ子

「私は長崎警察署の望楼からただひとり  
原子雲を見た」

この絵面は、原爆が投下されてから6.7分過ぎてからのことでした。  
私は当時、1年前巡査になって、長崎警察署に配置され、  
防空担当は、浦上地区となっておりました。

原爆投下後、すぐに浦上地区が、被害が出ているということで  
私が、直ちに望楼に上って浦上方面を見ると甚大なる被害が  
でており、これは大変なことと思った。又、原子雲が、下は  
400米と、金比羅山の高さから、僅かに高く、上の方はいくら  
高さがあるか判りませんでした。三階からは、北巡査が、窓が  
こわれているところから、浦上方面を見ておりました。

きのこ雲の上部は黒く、中心部の方は、赤味をおびた黒であり、  
下部の方は、又、黒くなっておりました。

次に長崎警察署では、各担当の地区に警官が例えば、  
本河内、箱佐、丸山、戸町、山里、大黒と被害調査に出動  
しました。その日の夜、対策会議がひらかれ、翌10日の  
指示が出ました。◎ 証言者、嘉松 半四郎 (20才)

長崎市立山町 [REDACTED]  
。追伸、この原子雲が10,000米の  
高空から、カメラで「おさめた米軍機のもや、その他、  
香焼島からみたもの、それぞれの角度からみたもので、  
異なるところがあるがそれは、止むを得ないところです。

境峰墓地

薬学部  
医

大学の建物の中で  
多数の方を死ねさせた。

多数の遺体を焼却  
(被爆した(命を失った)23日  
に死んだ人々多い)

空の地で遺体を焼き  
その煙が所々に見えた。

長大附属病院

病院の上は  
家も焼けてしまった

山王神社の  
大樹

片足鳥居

山里町(小高台地)

長崎電気軌道

次田町

岩川町

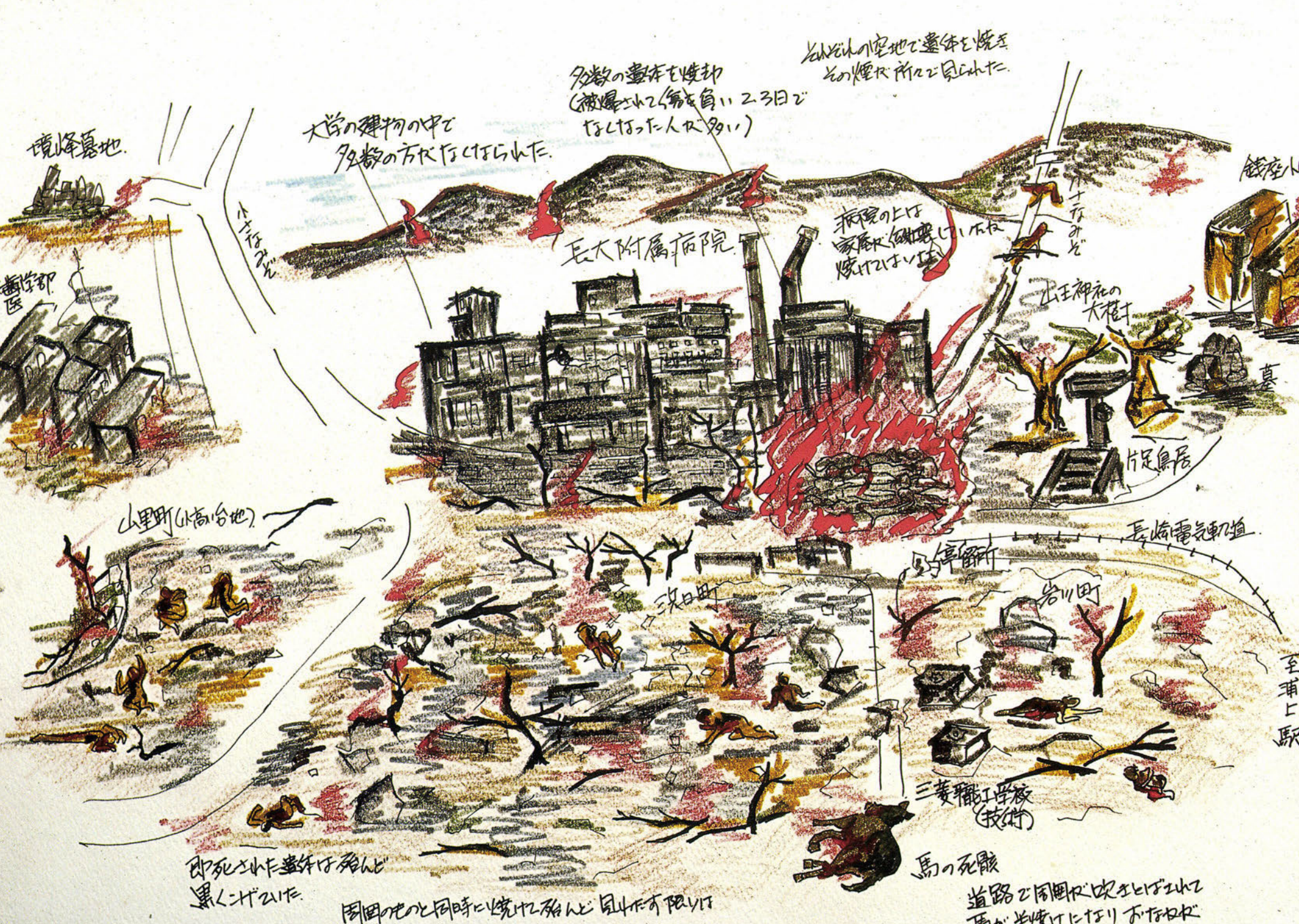
三菱職工学校  
(技術)

馬の死骸

即死した遺体は死んで  
黒く became

周囲地と同時に焼けて死んで見えない限り

道路の周囲が吹飛ばされて  
馬が焼けてはたりにた



## 被爆惨状絵図 中52号

「私は爆心地(大学病院)附近で野宿した」

私は、1.5km(中心地より) 洲神社下の露天堀りの防空壕にて作業中、8月9日被爆、奇蹟的に助かる。

附近では家屋の下敷きになり、助けを求め声を探し乍ら救助に当たったが、余り助けることも出来ず(今でも心が痛みます。)夕方近くになった、自宅が浦と教会下だったので、鉄道線路がたいに帰路につくが、爆心地は、勿論、浦上方面 大学方面は、猛火に乞まれ線路を通る方法もなく、何時の間に西野まで来て、火の崖下に野宿する。8月10日は、自宅附近の浦と教会周辺を自身の安否を求めて、右往左往するが見当らず、夜は大学病院裏の小川の近くで野宿、附近は傷を負った人達が次々と息を引き取って行く。

絵の説明になりますが、11日、12日頃の記憶を思い浮かべたら、書いて見ました。ようやく周囲の火も収まり、大学病院下の浜口、岩川町高台の山里地区の焼け残った木枝、その他の物々に混じり遺体が散見されたが、定かには見られなかった。

即ち、遺体を探すにも全焼して判然としない惨状だった。

併し、大学病院の上から、金比羅山頂附近は、家屋や樹木は、全壊、薙ぎ倒されているが、焼け残った所があり、負傷した人達が山を目かけて助けを求めて、彷徨い、行き倒れて死んだ人々が多かった。

大学病院の中も焼け残った所があり、死んで"行った"身寄りが分からない人々は、救助隊の方々に、"輝ひ"出され、大学正門前のところで遺体を次々と茶臼に附した光景が今も眼に焼きついている。

山王神社の片足鳥居は勿論、大きな樹も焼け爛れ、再燃不能の状態だった。

又、浦と駅から、浜口町を通る、国道筋に、荷場車と共に、馬の死体が横わり、半焼けになり、夏の炎天下、陽のガスが溜り、大きく膨らんで倒れていた状況も目に浮かぶ。

以上、思い出す儘に書いてみたが50年有案もなると思い違ひもあるが又、確かな記憶も蘇がえて考ります。

◎ 証言者 平山 兼則(69歳)

長崎市 平野町

鉛  
ツ  
ふ  
ろ



お母さんの  
金の指輪  
ゴルフバットとなりマシ

被爆惨状絵図オ53号

「お母さんの金の指輪、ゴルフバットとなりて」

原爆において、一家全滅の家がありました。軍需産業の要取をつとめていた人がおりました。

私どもが数万人に及び会員を持っている関係上、いろんな情報がありました。

その人が一家全滅のために、会社より命令を受けて、従業員が焼跡に見たものは、銀の風呂釜だったといいました。

ところがこのおえら方の身内となる人が、ある日、友会の事務所を訪ねて来ました。

そこで、例のおえら方の話が出て来ました。

私は、「あの人の家には、銀の風呂釜だったと聞いておりますよ」と私が切り出すと、実は、私の身内(旦那)の家には、「そのおえら方の金のゴルフバットが、かくしてあったのよ」となったわけです。

どうですか、国民の皆さま、あの戦時中に、金の供出を呼びかけられて、私の母も、金の婚約指輪を供出したことを記憶しております。このようなことが戦争中いろいろありました。

厚生年金を従業員からとっておきながら、社会保険事務所に納付していなかった企業もあります。私が昭和22年養林者に勤務して給与係を担当しました。

ある日のこと、私が取員の給与を支拂った後に徴収した所得税を税務署に納めに行こうとしたとき、経理係の上司から「海城君、その税金をみんな税務署に納めるのか、私どもが前に勤務していた会社では、半分位しか税金は納めていなかった。そこで私は「この人へんなことを言う人だわ」と思っておりました。

ところがその後、私が友会の運動をして、はじめてわかったのですが、戦争中々会社においては、税金、厚生年金など政府に納付しなければ、行かなかつたものを、ごまかしていたのだなあと思いました。

戦争中、政府、軍、大企業などが、権力を握っていたもので、裁判所、警察、税務署など、どうしてもなるさと言って、国民の義務を怠っていたのだと思いました。

さきの私の上司の人もこの系列の人でした。今日、朝鮮人、中国人、台湾人などが、日本政府に補償を要求して来ますが、それはすべて真実で、日本政府は誠意をもってこれに対応しなければ、やがて、日本は、世界の孤児となりますよ

◎ 証言者、 海城 勝一 (68歳)

長崎市 坂本

長崎県被爆者手帳友会会長



被爆惨状絵図ヲ54号

「赤迫トンネルの前で私が見たもの」

昭和20年8月9日 三菱重工業長崎兵器(魚雷)製作所  
住吉(現赤迫)トンネル工場内で昼勤務で作業中、あと  
1時間位で昼食かと思う頃、突然停電し、何秒位かして、  
強風(後で爆風とわかる)が吹いてきて、トンネルの天井から  
水滴がしたたり落ちないように張ってあった。

トタン板が電線に引掛り、ガラガラゆれている中に  
外に出ようとしたら、爆弾が前に落ちたから奥の方に、  
避難せよと、言われても、奥は暗闇の中、どれくらい奥の  
場にいたろうか? 外に出て山に避難せよとのこととで、  
外に出て見ると、吃驚仰天怪我人はいるわ、トンネルの前に  
置いてある。カマス(稲わらで作った米等を入れる袋)に  
工作機械で削った鉄の切屑を入れてあるのが油が付着  
しているので、めらめらと燃えている。

鉄道の向側の家がどんどん燃えている。トンネルから  
出て見た光景です。

◎ 証言者 山川 米雄 (昭和3年4月30日生)

長崎市 西町

被爆場所 { 沖二機械工場 朝永組 4尺旋盤工  
赤迫町 赤迫電車終点、右側山



被曝惨状絵図 オタタ

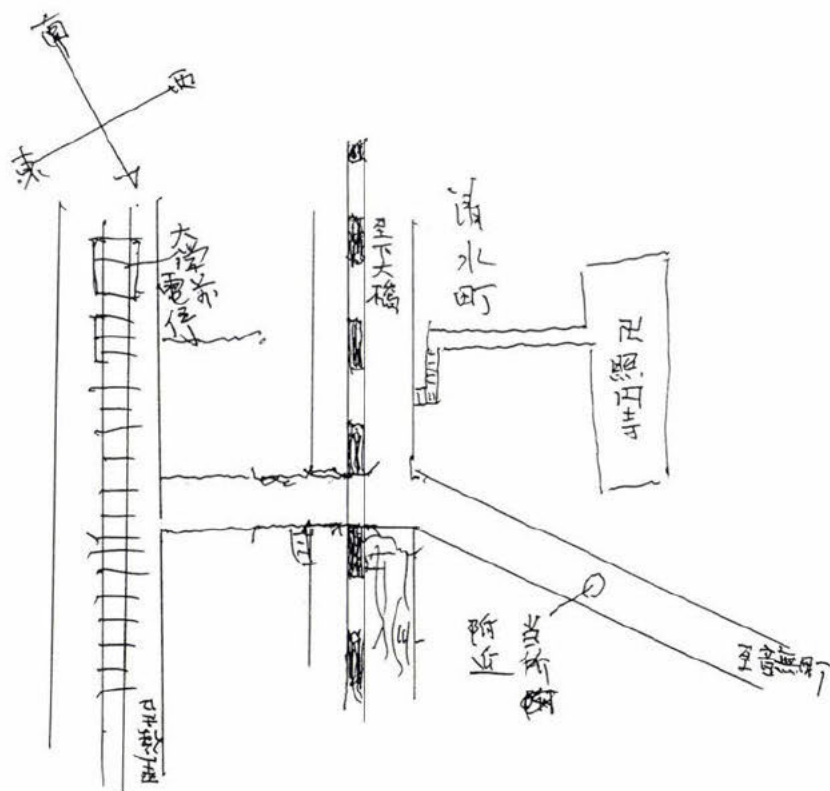
「清水町 照円寺の下で」

昭和20年(1945年)8月9日 三菱重工業長崎兵器(魚雷)製作所赤迫トンネル工場の上の山の上に避難場に何時間いたでしょうか? 大橋の本工場に救済活動に、鉄道を通って、西郷橋の所を通って、大橋工場に書き、たまたま工作部長の避難の方法の話き聞く、飛行機の爆音がしたらすぐに防空壕に避難しなさいとのこと。(爆音が生きてしばらくしてピカッ! ドーン)としたら、このごまだから、死体を一体運んでしばらくすると同僚が君の家に行ってみようと言うので、煙にむせびながら私の家に行く途中、現清水町照円寺斜め右下の川側の道路とJR鉄道踏切より、音無町に向って約30~40米位の所の出来ごと、向うから素裸で来る(朝鮮人らしい)人が「このバンド(バンド)外してクライ(下い)と全身火傷し焼爛れて赤身の上に汗が出たように、汗が出て身体は腫れあがっている見るだけで、自分の身体がヒリヒリするようだ。

腰を見ると焼け残ったバンドだけが巻き着いている。まるで膨らんだ瓦船を真中でゴムで絞めたように、腰に喰い込んでなかなかはずれなかった。

マット外して見ると、海苔網に付着した海苔のように、バンドに皮膚が付着したまま、メラメラとはげてきた。

◎ 証言者 山川 米雄 (昭和3年4月30日生)  
長崎市 西町 [REDACTED]  
当時の従軍工場 三菱兵器製作所 大橋工場 2=機械工場  
朝永組、4尺旋盤工  
場所 清水町 照円寺 右下道路





## 被爆惨状絵図 56号

「常在寺(川棚町)に 收容された被爆者」

原爆投下の 昭和20年8月9日 午後9時に 道の尾駅  
出発の 救援列車オム号車が、川棚駅に到着したのか  
8月10日 午前1時頃だったと思われます。

それから、警防団、婦人会の 出動によって 川棚海軍病院、川棚  
海軍工敵に 收容されたのでした。

川棚町 岩屋郷 川原1038の 松尾ケイさんも、海軍病院に  
派遣され、被爆者の 世話をされたそうで、水を水と 求める被爆  
者でしたが、翌朝になってみると、夜中に見た被爆者が、こんなに  
ひどいものであるかと 驚ろいたと云った、言葉に 果原対課、  
松村課長の 事情聴取が、“あの云っていたことは 正しく真実で、  
あれは、会った人ではないことは、”だと云って、被爆者手帳交付の  
決め手になったわけでした。 このようなことでしたので、友の会が  
出動して、被爆者手帳をとって あげたのでした。

その際、海軍病院のあとをうろついて 国立病院は、被爆者の入院  
は、なかったと云うことを 果原対課に 申し入れをしておりました。

そのことが ネットになって 手帳交付が おくれていたのでした。

ところが、松村課長は 果の役人とは、別格な人で、しかも 熱心  
な人でした。 それで、国立病院の 地下倉庫を調べた結果、  
被爆者治療の カルテ3枚を見つけたわけでした。

それで、皆さん 被爆者手帳をもらうこととなり、よろこんで いらっしゃいました。  
なお、国立病院の 医師、看護婦たちは、既に そのときは、被爆者手帳を  
もらっていたそうで、全たく ひどい 話でした。

川棚地区では、海軍病院 海軍工しゅう、常在寺が 被爆者の 救護施設  
となって、400名 近くの被爆者が、收容されたそうで、原爆病院の 安日先生の  
奥さんの 安日涼子さん、友の会 西有家支部の 志岐重孝さんも 川棚組でした。  
なお、画面は、常在寺の 状況です。

即ち、8月10日 午前7時半頃 川棚駅から、戸板地 手作りの タンク等に  
運びました。 町内の 消防団と 小串に 駐屯していた 嵐部隊の 軍医、  
看護婦、婦人会の 人々で、50名 前後の被爆者を 收容作業に、従事され  
たそうです。

神木 三郎 (68才)  
◎ 証言者 { 長崎県 東彼杵郡 川棚町 小串郷 [REDACTED]  
被爆当時、警察官 [REDACTED]



被爆惨状絵図 オ57号

「ガスタンク爆発のために爆死した人々」

私が昭和20年8月10日午前9時頃（即ち、原爆投日の翌日）大橋町のガスタンクの傍を通過して、長与の実家から嫁入り先の長崎市御船蔵町に帰るときのことでした。予基あったガスタンクが爆発しており、そこに、多数の人が死んでおったが、他よりも非常に多く死んでおりました。

しかも死体を見ると、鼻のたれ方が違うのです。赤鼻、青鼻、白鼻と皆さん特に違うわけでした。

◎ 水江 オケの証言

◇

◎ 深堀 勝一の証言

私の姉がそのガスタンクより、西の方に150米のところに友人の西村さんの家に行つて爆死したそうですが、その西村さんの家が、爆心地から、距離から1,100米位のところにありました。

ですから、即死したということは、原爆より、むしろガスタンクの爆発のために死んだと思うわけです。

私も、三菱兵器大橋工場オ一仕上工場で、ピカッと

光つて工場が、爆破されたとき、はじめは、てっきりガスタンクの爆発によるものではないかと、思ったくらいでした。又、茂里町兵器で被爆して、錢座町の、山の手、逃げた 下谷 富太郎 さんが山の上でガスが非常にくさかたと言っており、八千代町ガスタンクの爆発が原爆の被害をさらに増幅したものと思います。

◎ 証言者

。水江 オケ

長崎市 天神町

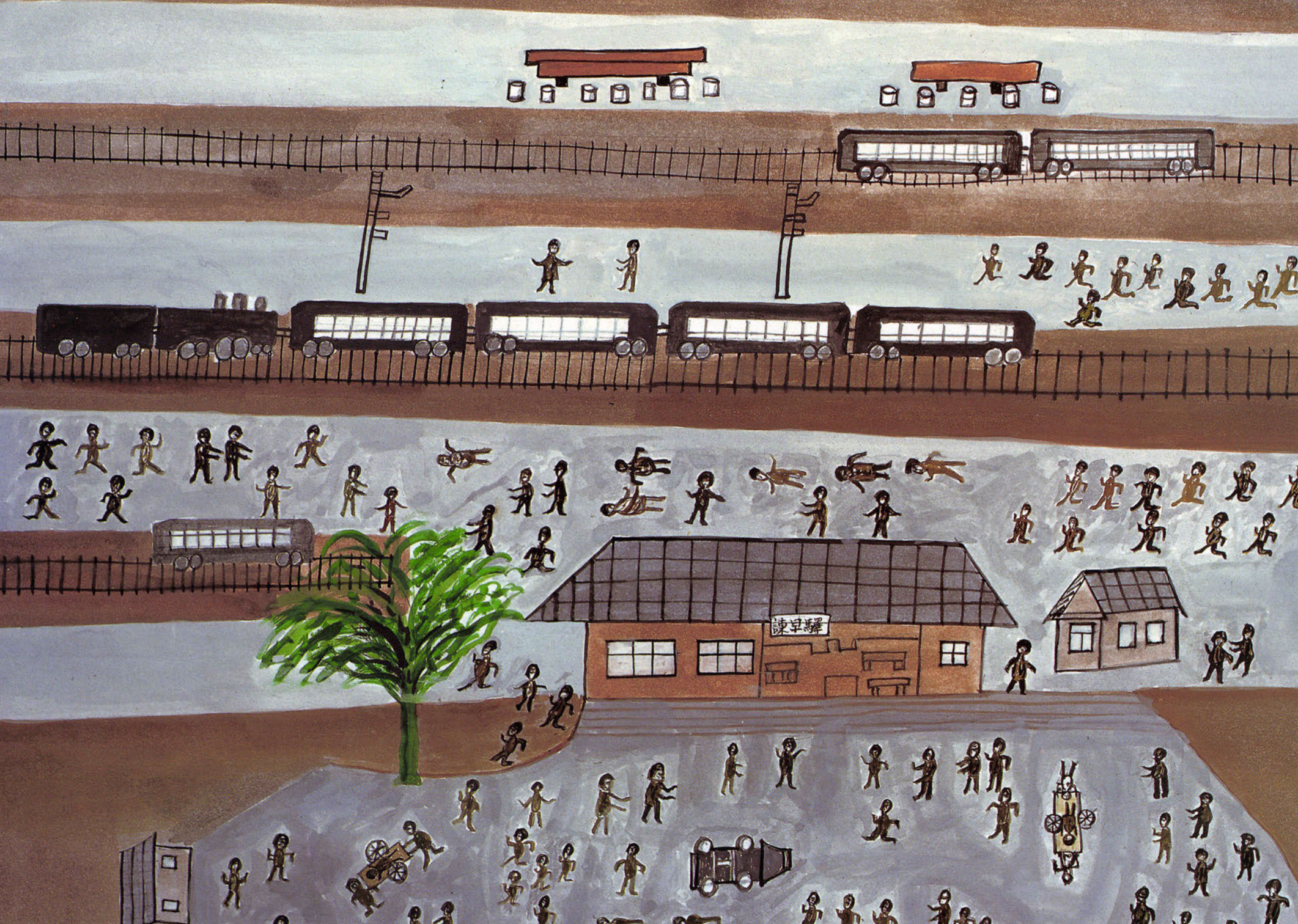
。深堀 勝一

長崎市 坂本

長崎県被爆者手帳友の会会長

。下谷 富太郎

長崎市 柳谷町



## 被爆惨状絵図 オ58号

### 「諫早駅前における救護活動」

昭和20年8月9日午前11時に投下された原子爆弾による負傷者を救助するため、汽車による救助活動は、午後2時に出発したオ1号救護列車が諫早駅についたのが、午後3時頃のことでした。客車6両位だったらしく、400名前後の負傷者が諫早駅に着きました。そこで、列車からおろされた負傷者を諫早海軍病院、諫早国民学校に収容するため、警防団、国防婦人会、駅員警察官などが、消防自動車、大入車リマカーを集合させて、救護に当たっていました。

収容作業の途中で、多数の負傷者が死亡して、大変なものでした。諫早市が長崎原爆の救護のセンターとなったのも、地形的関係で止むを得なかったのです。

その後、被爆者手帳の申請で、おなじく救護活動の当たった人が手帳の交付が「行なわれず」苦しんでいる人があるが、県当局、諫早市当局も、今少し熱意をもって手帳交付の努力すべきであろうと思います。諫早市の各施設で収容された被爆者は最終的には、1500名になったと思います。

◎ 証言者 田嶋 義治 (クノダ)

諫早市 日ノ出町 [REDACTED]  
[REDACTED]

原爆で「つんぼ」となり！！  
列車事故で、左腕切断！！  
48年ぶり、執刀医発見  
強制連行朝鮮人に、厚生年金が



御厨駅 (松浦市)

## 被爆惨状絵図 オ59号

「48年ぶりに 執双医発見されて」

平成2年の秋ごろ、ノ人の朝鮮人と、その奥さんが友の会事務所を訪ねてこられました。よくよく話を聞いてみると、安田 泰華さんと云う人で、昭和17年強制連行朝鮮人で、北松、大加勢炭鉱で働かされていたそうで、昭和20年6月頃には召集で大村部隊に入隊して、それからまもなくして日見小学校に駐屯しました。

原爆投下のときは、校庭で被爆し、耀爪で耳が遠くなったそうです。ところが、翌8月10日から、爆心地附近の救援活動のため、大学病院などに出勤しました。

それから、20年10月復転して、又、昔の大加勢炭鉱で働かされました。昭和21年になると、復員軍人が取場に帰って来たため、朝鮮人は大半が帰国しました。

それで、安田さんも帰国をと思っていましたが、何分とにも、当時は帰国するための舟はなくヤミ舟で渡っておりまして。

昭和21年9月15日、その日は、日昼日のため、ヤミ舟探しのため、北松の海岸を探しに歩き、帰途に御厨駅で汽車を待っていたそうです。ところがホームに入って来る汽車の音が聞えず腕をはねられたのでした。

それから、ホームに、朝鮮人と云うことで、誰も助けるものがなく、

放置されていたそうで、実に嘆かわしいことだったそうです。

あまりにもあわれだと云うことで、田平カトリック教会の信者が病院に運び手術をされて、どうにか生きのびることが出来たわけでした。そのとき執双されたのは、父親で外科医(60才)娘の内科医24才でした。

安田さんは、その後病院内の部屋を借りて、闇高売をしながら、生活をしておられたそうで、漬け物の朝鮮づけで高売を築営させて、松浦市で有名になられたそうでした。

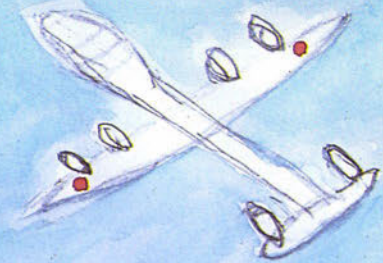
しかしながらなんとしても厚生年金の傷害年金を受給しようと申請するが、社会保険事務所は受付けてくれなかったそうです。それで、友の会の深堀のところに来たところ一件書類を作成して、佐保社会保険事務所に提出しました。

それから、<sup>ま</sup>厚生社会保険庁に申請書が提出されたが、保通になってなかなか裁定されなかったのです。そこで業をにやした、友の会の深堀が厚生省の官僚である荒賀事務局長に平紙を出したところ、荒賀さん当局に再考するようにながして、ある日、荒賀さんより、友の会に電話がありました。安田さんを執双した女医の病院の公的証明書を提出するように要請して来ました。

それから2ヶ月程たつて、厚生年金の証書が送って来たわけでした。安田さんは負傷して48年目にしてやっと厚生年金を受給することができました。⑩ 証言者 安田 泰華(71才)

北松浦郡 松浦市 御厨町  
傷病名 左前腕部切断。

和16年12月8日  
飛行でい 五各方面へ  
太平洋戦争 南米のソのX-112



## 被爆惨状絵図才60号

「開戦の日 12月8日の思い出」

私がいつものごとく、午前7時20分自宅を出て、長崎商業に着くのが、午前7時55分頃でした。

当時学校は、油木谷にあったので、いつも徒歩で学校に通っておりまして。ご承知のとおり、昭和16年もなって、支那事変が悪化して、戦況急を告げていたころでした。

ところが、私の家を出て5分もしないところで、小佐々喜右内さんの家の前で臨時ニュースを聞いたわけでした。

「臨時ニュースを申し上げます」

### 大本営発表

「帝国陸海軍は、本ハ日未明、西太平洋において、米軍と戦い状態に入れり」と報じておりました。

学校に着いてからも、この話でもうきりでした。

朝礼のとき、火の主任校長、熊川千弥校長が例によって、土壇をこがする演説をやったのも、当然の成りゆきでした。

それから戦況がつぎつぎに発表されて生徒一同若干興奮気味でした。その日、一日中ざわざわしてどこかしら落ちつかないところでした。

私は、皆さん累殺しているなかになにかしら、不安が頭をもたげて来ました。

それは、今でさえ、支那と戦争しながらそのうえ、米英という大国と戦争をして大丈夫だろうかと思ったわけでした。

その日の午後4時頃校庭に又、集合させられました。

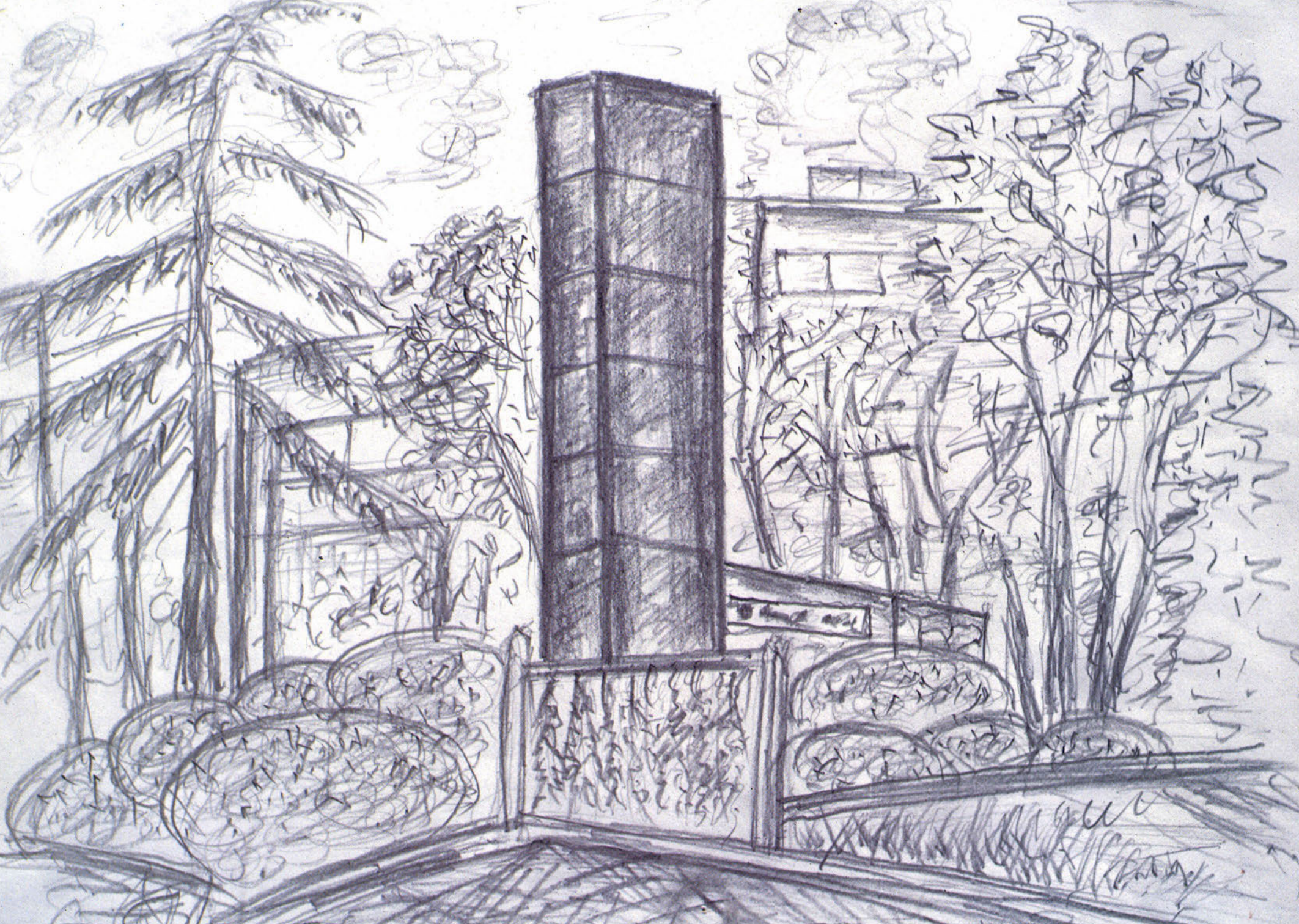
そのとき、大村を出発した飛行艇が五島方面に、ノ機ゆつくり、西進してゆくのを見とどけました。

なにか、一日の累殺をほぐすかのように

◎ 証言者 深堀 勝一

長崎市 坂本

長崎県被爆者手帳友の会の長



被爆惨状絵図 中61号

「爆心地慰霊碑撤去は 何の為か」

長崎市が 爆心地の慰霊碑撤去が発表されて、半年  
反の会として、平成8年9月19日午前11時から、現地  
において 写真会を致しました。

その優秀作2編を後に残すこととしました。

◎ 証言者 山下 弘文

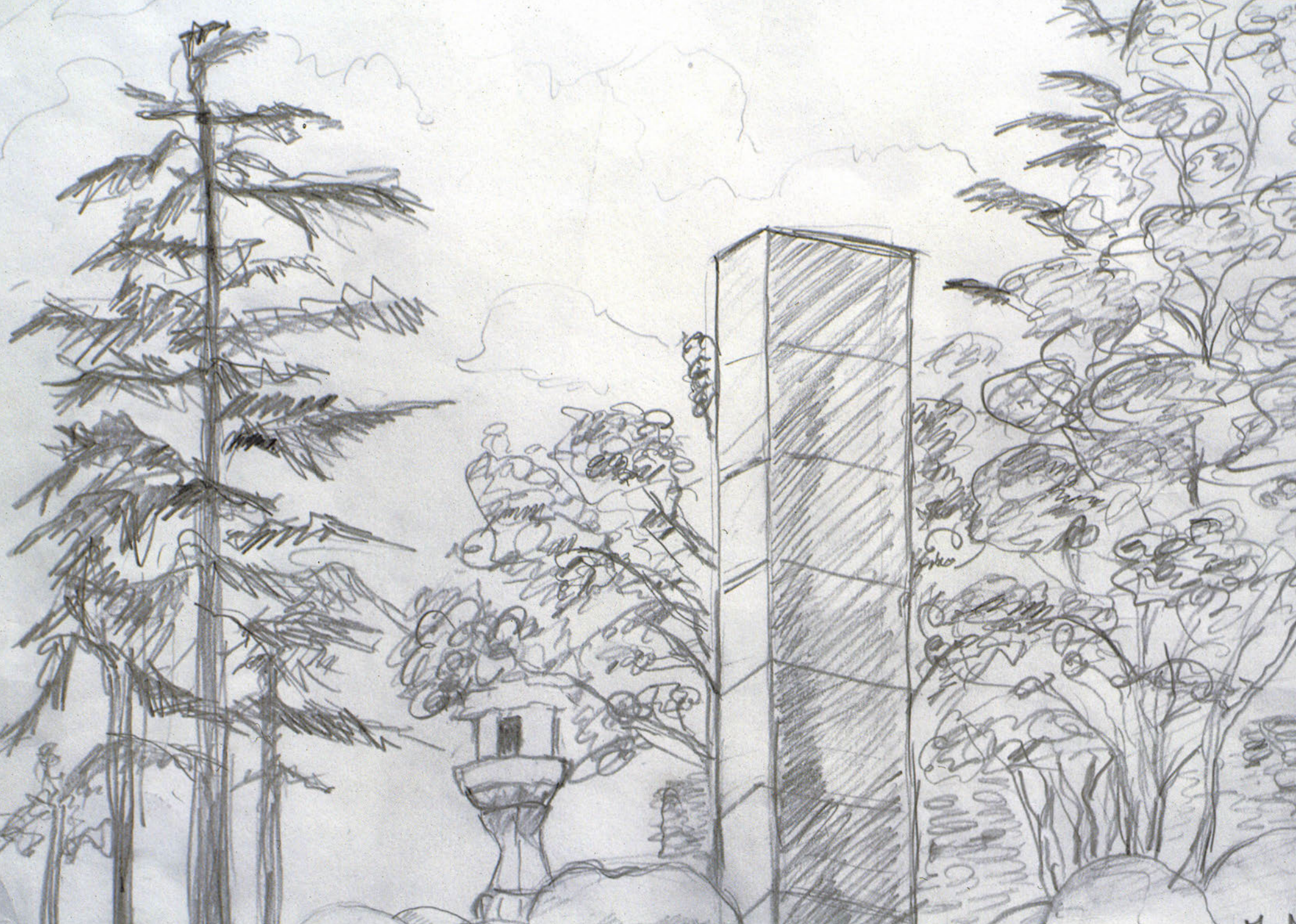
諫早市 小野町

その会場に集った市民の声を紹介します。

“ 何の為に この慰霊碑を撤去せねばならんのか、意味  
が判らん ここに 被爆した人の 遺体が 山積み  
されていたのに ”

“ 結局は、市長の金儲けか 自分の名を永久に残すため  
に、やったものであろうが、他の方法があろうになあ ”

“ 私は ちっとも意味がわからん 選挙のときは、うまいこと  
ばかり云っておったが、政治家は 選挙が終れば、こん  
なもの ”




被爆惨状絵図 第62号

「慰霊碑撤去は許されん」

友の会が中心碑の写生会をすると云ったので 30名近くの人と  
ともに つたない絵をかいたところ、入選作となったので、おどろ  
いております。

私は、最後まで 中心碑の撤去反対運動を続けます  
それは 被ばく者の遺族としても正しい斗いです

◎ 証言者 宮部 マチコ

長崎市 若竹町 

私の主人が 死んだのよ!!  
遺族年金を 申請して いたら!!  
45年前、長崎商業報国隊で三菱兵器に出動 肺癌で死亡。  
遺族年金、支給決定!!



被爆惨状絵図 才63号

「私の主人が死んだのよ！  
遺族年金を申請して見たら！」

今から 5年頃前のことですから 平成3年の頃だと思えます。私が、東爆病院の医療社会事業部にいたところ病衣姿の美しいご婦人が近づいて来て、「私の主人が死んだのよ」と云うのです。私は、この婦人が誰か知らなかったのです。どうも、友の会の会員らしく、西城山支部の永田さんと名のつたかけでした。よくよく聞いてみると、長崎商業の後輩で、三菱兵器大橋工場の被爆だと云っておりました。そして死亡診断が、肺癌のようでした。

ですから永田さんに対して、私にだまされたと思って、戦傷病者戦没者遺族等援護法による、遺族年金を申請して見たら……

現在、放射線学会の推移をみれば 30年後 40年後になって、多量の放射線を浴びた人は、白血病、癌になることが、立証されている。今日、急性放射能症のみを、遺族年金を支給するのは、おかしいのではないか、私がもし厚生省企画課の事務官に在職していたら、上司に進言して、遺族年金を支給すべきと云うのだが、

とにかく、私にだまされたと思って申請したらと、すすめたわけでした。それから1年ばかり経過して永田さんの奥さんが友の会を訪ねてこられました。ところがどうですか、

「会長さん 遺族年金が交付されて来たんですよ」

「そうか、やっぱり来たか、でも考えて見たら くるのが 当たり前だからね」

永田さん云わく、会長さんから云われて、市役所、果庁に行ったらそんなものが 通るもんか」と云ってそれは冷淡なものでした。

私が補足して云ってやりました。

「あれは、いかん、これはいかん」と云うのが、市役所、果庁のいつものことです」

いづれにしても、腕発性放射線後遺症に 遺族年金が 画期的なことでした。その後、今日まで12件程交付されたのでした。

◎ 証言者 米堀 勝一 (68才)  
長崎市 坂本 [REDACTED]  
長崎県被爆者手帳友の会会長



TO HAYAMA

## 被爆惨状絵図 ㊦64号

“長崎駅から見たガスタンク”

私は当時15歳で、長崎駅の機関区で機関助手見習いをしていました。

原爆投下の昭和20年8月9日は、午後0時30分発の貨物列車の乗務を命ぜられていたため、その原爆投下、午前11時02分は、長崎駅に待機しておりました。

爆音らしいものが肉を刺すような感じが、落ちて来るぞと叫んだものがいた、それからパーッと光るものがあった、しばらくの間、砂煙で真っ黒くなりました。

それから数分して明るくなったので、吾にかへって見ると、顔面、もも、背中に大火傷をしており、ヒリヒリして、とても痛いのを憶えております。

フト！前方を見ると、八千代町のガスタンク2基が破裂しており、私はてっきり、ガスタンクの爆発でこのような火傷をしたものだと思っていました。

ところが、長崎駅も燃えており、周囲を見渡すと、殆んどのところも燃えていたので、これは爆撃でやられたのだなあと思いました。

それから、救援隊が長崎駅に来たと云うので、行ってみると、

患部にヨードチンキをぬるばかりでした。

その後、現在のN.H.K.の横穴式の防空壕に、一晩ウンウンなり声をあげながら、横になっておりました。

翌9日、浦上方面を通過して、長与町の町鉄管理部につきました。

◎ 証言者 長崎県西彼杵郡長与町本町内  
葉山 利幸 (67歳)



被爆惨状絵図オ1号(関連資料)

「被爆者としての私」

私は、昭和3年10月31日生れで、三菱兵船大橋工場組立工場で被爆しました。爆心地から距離1100米です。

私は、当時瓊浦高女4年生で勤労学徒として出勤しておりました。原爆投下されたとき、意識不明で数時間建物の下敷となっておりました。それから父が私を探し出して翌8月10日、大村海軍病院に入院しました。それから昭和24年まで治療を受けておりました。それから昭和24年大学病院に転院しました。

私は、頭に木片が突きささっており、その傷に手術を8回受けました。原爆医療法が昭和33年制定され、オ4号の認定患者となりました。昭和32年11月10日、長崎県勤労学徒犠牲者の会が発足してから、役員となり、昭和42年、長崎県被爆者手帳友の会が発足してから、長崎県内を竹島、五文洲、組織対策部長とともに五島、老岐、対馬の離島をはじめ、県内の組織確立のために、文筆どおり、東奔西走しました。

幸いにも、その労苦が報われて、会員5万という、長崎県最大の被爆者団体を作りました。現在は、立山中央支部の支部長として、被爆者手帳、認定患者、療養法(戦傷病者)の晚発性の遺族年金、障害年金の申請など訪ねて来る人のお話をさせて頂いております。

◎ 証言者 磯田 泰子  
長崎市 立山町

被爆者生き残りたる人々に対してアンケート

長崎県被爆者手帳友の会 (1971.10.)

名称	内容記入事項
1. 氏名	磯田 泰子
2. 被爆場所	三菱兵船大橋工場組立 1.1km
3. 被爆当時の年分	勤労学徒(瓊女報国隊) 520.9% 立山町
4. 被爆当時の住所	長崎市立山町 [REDACTED] 524.20 " 追洗
5. 生年月日	昭和3年10月31日 524.10 立山町
6. 被爆当時の負傷、または病名	被爆時に眩暈に工場天井板の木片が2、10cm角の入院生活し、右胸8回の手術を受けたが、今も右手は不自由、又肝臓障害もあります
7. 被爆当時の家族状況	父、姉、三菱造船で被爆。母と妹二人は自宅で被爆。妹は21年6月22日死亡。

148.11.25 確認

◎ 現在について

8. 現在の健康の状態	つかれやすく、冬は右手が動きにくくて不自由。食事には、注意して、年2回の原爆検診を受け、月1回長崎大学病院通院中。
9. 健康管理について	バランスよく食事を取り、10分睡眠を取り、不足は健康食品やビタミン剤を取り注意する。
10. 学歴の投下とどう思っていますか	原爆投下から5年以内も、私達の被害は知らず、大勢は青春も、忘れて3世に、被爆の犠牲者は私達だけで、なく、二度と繰り返してほくばい、心から思っています
11. 平和は、どのようにしてやったらよいですか?	全世界の団が、核兵器を、なくして、平和が一番、思う。
12. 被爆者運動をこれからどうしたらよいですか?	私のおに、大で生きておられるには、老後が心配。原爆一本を、早急に拡充してほしい。又、ニ、三、対策被爆地域を、正しく、現実的、懇話会、課題について、同会、同方向、してほしい。

×モ欄

被爆惨状絵図 ㊦ ㊦ 2号 (関連資料)

「被爆者としての私」

私の人生と言うものは、まるで小説のようです。

はじめて 水江 政男さんと結婚しましたが、昭和12年支那事変で戦死し、その後、弟の水江 実と再婚しましたがこの弟も、昭和20年8月9日、三菱兵器茨里町工場で爆死しました。その後子供3人を有るため、三菱重役に就任して、やっと厚生年金のつくまでにはと思い頑張りました。

その為、深堀さんがはじめた原爆の運動に参加して、40年後の今日まで役員として末席を汚しております。

多数の役員も亡くなられて、淋しい限りですが、頑張っているところです。私は主人の50年忌を2回とり行ないました。

50年忌をすることは、右にまれなことですが、私は2回まで致しました。このような人は、今日まで はじめてではないでしょうか……… 昭和12年支那事変で戦死した先夫、水江 政男、昭和20年8月9日原爆で爆死した次夫の水江 実です。ただ今日、生き残って思うことは、絶対に戦争をしてはいけないと言うことです。

◎ 証言者 水江 オケ (81才)

長崎市 御船蔵町 [REDACTED]  
(大正4年8月20日生)

現住所 長崎市 天神町 [REDACTED]  
[REDACTED]

被爆者生き残りたる人々に対してアンケート

長崎県被爆者手帳友の会  
(078-920)

名 称	内 容 記 入 事 項
1. 氏 名	水江 オケ
2. 被 爆 場 所	西彼杵郡 長与町 高田郷 字百里野
3. 被爆当時の身分	主婦
4. 被爆当時の住所	長崎市 御船蔵町 [REDACTED]
5 生 年 月 日	大正4年8月20日
6. 被爆当時の負傷, または 病 気.	なし
7. 被爆当時の家族状況	夫. 実, 母. ハル, 子. 健市, 美代子, 紀代子
◎ 現在について	
8. 現在の健康の状態	80才の高令ですが、元気です 余りくよくよしないことで、無理をしないことです。
9. 健康管理について	特別にしておりません
10. 原爆の投下とどう思われますか	悪いことだと思います。 戦争を何故仕かけたのでしょうか 原爆は人類を滅亡させます。
11. 平和はどのようにして 守ったらよいですか?	皆さんと仲よくすることです。 そして強力なる組織を作ることで 友の会以外は、あまりにも小さいので養老院が
12. 被爆者運動とこれから どうしたらよいですか?	欲しい。 何故 長崎には方々のホームが出来ないの でしょうか、広島市には才3のホームが出来 て出来ていると聞いております。
× 毛 柄	私の初孫、水江 小百里は、昭和55年11月3日 自血腫で 死亡しました。それは、原爆投下の翌日から、長男 健市を連れて 爆心地附近をさがしてまわったからだと思います。

被爆惨状絵図第3号 (関連資料)



「被爆者としての私」

私は爆心地からの距離は、200米ですので、被爆線量は、数階下  
のものだろうと思います。それは何故か/年後も生きているのか  
不思議でならないのです。 高ところによると400ラド以上の被爆線量  
を受けたものは、大多数が死亡すると云うことになっているようですが、  
その被爆線量は、数倍もあったと思います。 それは、被爆線量と云う  
ものは、しゃべり物の関係で、相当激殺されるものと思います。

特にコンクリートの建物には影響があると思います。

大学病院関係者が多数生き残っている現実です。 私も動員生徒と  
して、城山国民学校でしたので……… そして又、父が村の医師と  
して、いたので、出征中であると云えども、家には注射薬があり、母が  
私を助けて来て、すぐにカンフルを打ったことです。

母も竹前の小僧で、医学の知識があったことです。このような状況で、  
私が生き残っているのではと思うところです。

又、私の母は、私を城山国民学校からタンカで運んだとき、そのタンカに  
ついて来た雇用工の青年を、自分の家に連れて来て面倒をみていたようで、  
その青年は、原爆の影響と思われる精神障害で、自分の名前も云わず、  
ときどき大声を出してわめいていたようです。

母は、何処の人も、どんな人も わからないうえ、しかも私が、  
ひん死の重傷で、大変であった中に、この青年を在監していたようです。

終戦の日から、3日目に、その青年に2日分の弁当を持たせて、出発  
させたようです。 そして家についたら、手紙をくわと云ったようですが、  
その青年が、何の連絡もないので、家には、帰りついてはいなかったのだらうと  
今も来じておるようです。

あの原爆ゆえに、精神障害者が多数出たと思われませんが、それにしても  
母は、えらい方だと思います。

◎ 証言者 土岐 えみ子 (67歳)

昭和4年3月26日

当時の住所 長崎市 柿泊町

現在の住所 長崎市 油木町

被爆者生き残りたる人々に対してアンケート

長崎県被爆者手帳友の会  
(1983) (48.10.2)

名 称	内 容 記 入 事 項
1. 氏 名	土岐 恵美子
2. 被 爆 場 所	長崎市立城山小学校内
3. 被 爆 当 時 の 身 分	動員 生徒
4. 被 爆 当 時 の 住 所	長崎市 柿泊町
5. 生 年 月 日	昭和4年3月26日
6. 被 爆 当 時 の 負 傷、ま た は 病 気	全身ガラス破片負傷、原爆症。
7. 被 爆 当 時 の 家 族 状 況	祖父母、母、本人、弟2人、妹1人。

◎ 現在について

8. 現在の健康の状態	外科 整形外科に通院中。
9. 健康管理について	木曜日に作業等(家事)を継続せず、体調を 見ながら、ぼろぼろ、しています。
10. 原爆の被害とどう思いますか	戦争とは云え決して許せないことですが、今後再び この様なことがなれば地球の狭く限り人類は 力を合わせて「カフ」を廃絶すべきと 思います。
11. 平和は、どのようにして 争ったらよいですか?	一人一人が平和の尊厳を知り、争いを避け話し合 つて、解決の道を探すべきだと思います。これは、 各国とも同じです。
12. 被爆者運動とこれから どうしたらよいですか?	決して絶やすことなく、世界中が平和になるまで 続けて行けたら、良いと思います。 苦しい大変な仕事だと思います。よくよく決意し 申し上げます。頑張ります。

メモ欄



被爆惨状絵図 才5号 (関連資料)



被爆者としての私、

私は原爆が投下されたときは、三菱兵器製造里町工場に  
おりました。ピカッと光ったと思うまもなく、私は意識  
不明となりました。

ところが目がさめたのが、倒れている私を踏み越えて行く  
人々で目がさめました。そこでこれは大変と負傷して  
おりながら工場を出て、銀座町の民家の焼けているところを  
通り過ぎて、山の手の方向に逃げて行きました。

8月9日の夜は、長崎市の焼けさから椰子を見ながら夜を過  
ごしました。

8月15日、私は三菱病院で右腕切断の手術を受けました。  
その手術の最中、天皇陛下の終戦の放送があったため、執刀中の  
医師が、その放送を聞きに行ったために、手術が遅れて、長い  
時間痛い目に会いました。

私は右目失明、右腕切断のため、その後大変で、新聞配達  
をして生計をたてましたが、雨の日が傘をさすことができず  
雨にぬれて新聞を配達しました。

私は、昭和32年11月10日、長崎県動員学徒犠牲者の会の創立  
総会の途中、100円の会費がないので、その会場を逃げて、帰り  
ました。

それ程までにお金に困っており、苦しい毎日でした。

◎ 証言者 下谷 富太郎 (71歳)

長崎市 柳谷町

被爆者生き残った人々に対してアンケート

(71歳) 長崎県被爆者犠牲者の会 (4810)

名称	内容記入事項
1. 氏名	下谷 富太郎
2. 被爆場所	三菱兵器製作 茂里町工場
3. 被爆当時の身分	工員
4. 被爆当時の住所	長崎県市川保町
5. 生年月日	大正14年4月23日生
6. 被爆当時の負傷、または 病状	魚雷のメッキ作業中、被爆 右腕に負傷、右眼 ガラス刺す失明
7. 被爆当時の家族状況	父母、姉、弟、各2名 父は茂里町兵器、姉は柳谷町、弟は太橋工場
◎ 現在について	
8. 現在の健康の状態	高血圧と眼科に通院しております
9. 健康管理について	食物に注意しており、お菓子などは 夜は早くお茶、朝は早く起きるよう にしている。お菓子などは控えています。
10. 原爆の投下とどう思われますか	広島に続いて、二発目の原爆が投下され 多くの人が亡くなり、今も傷ついている被爆者の 苦しみ、戦争に二度と入りたくはない。
11. 平和はどのようにして やったらよいですか?	被爆者から6年、平和がいつまでも 続きますよう、核兵器廃絶をうたっています。
12. 被爆者運動とこれから どうしたらよいですか?	被爆者は高齢化、衰弱になっている 高齢被爆者対策のため、特養ホームなど 二世被爆者対策 できる限り、お預り致します。
×モ欄	毎日おつかれさまで、これから身味さき付 て下さ。

## 原子力船むつと被爆者対策

長崎県被爆者仲間会の会  
会長 深堀 勝一

昭和53年になって、原子力船むつが試験航海中に放射能もれをしたために帰るべき母港がないままに、公海上においてさまよっていました。

そこで、このむつを修理する企業がないかと全国を物色していたのでした。

そこでこれを肉いた久保知事がよし!!これをS.S.Kにさせて大いに長崎県の意気込みを、政府に売りつけてやろうとの意気で、佐世保港にもって来て、S.S.Kにこの工事をさせて、赤字続きのS.S.Kのカンフル剤としての位置づけをしたいと企画したのでした。

ところが、どっこいこの長崎県には被爆者がまだ10万人も生き残っていたのでした。

果敢ににおいて、もめた場合においては、オジマンとなるので私達県内最大の被爆者団体である友の会に打診して来たわけでした。私ども友の会においては、核の被害者であるためにどうしてもこれを了承するわけには行かなかったのです。

ところが久保知事云わく、「俺は被爆者に核つきの艦船の佐世保入港に対して、賛成はしてくれとやぼなことは云わないただ、デモ隊を果敢会に押しかけて来てくれるなどお願いしたい。友の会さん そうすれば貴方達の宿願の新原爆病院の建設と、特養ホームの設置は、私が責任をもって実行すると」云ってこられました。

そこで友の会として、反対はするがデモ隊を果敢会に送るのを止めました。

今日あのような立派な原爆病院と特養ホームが出来たわけでした。

あれから20年近くの歳月が流れましたが、会長である深堀は、あのような取引ならばいつでもするぞ!!と思っております。

## ◎被爆者特別養護ホーム「かめだけ」の設立趣旨とその全容

さきの大戦末期に投下された原子爆弾により、二十数万人に及ぶ死没者、三十数万人に達する原爆被爆者が生じたことは皆様方よくご承知のことと思います。この二発の原子爆弾のもたらした後遺症は、さまざま形態で今日まで、又これから先きまでも私達被爆者を心身ともにさいなんでいるところであります。

なかでも頼るべき肉身を失い、或いは子宝に恵まれず、不遇な老後を送る人達の事を思うと、慄然とすることが度々あります。このようなとき、私達が安心して療養に専念出来る特別養護ホームがいかに緊急で、是非とも必要であるかが会員の皆様方にはお判りになるかと思えます。

そこで長崎県被爆者手張友の会では、既存の原爆特養ホームの増床をこいねがい要望して参りましたが、種々の事情により大きな増床は困難視されたのに、加えて郡部被爆委員の要望に応えるために昭和五十三年度の運動方針の中で取り上げておりました西彼杵郡連絡協議会の支部事業として、西彼杵郡に適当な敷地を探しておりましたところ、幸にも西彼町の御好意により一七、六八五㎡の土地を無償貸与して戴くことになり、又国、県、関係各機関の内定を得ましたので、財団法人被爆者福祉会を設立し、特別養護ホーム「かめだけ」の設置運営を行うことにしました。

この特別養護ホーム「かめだけ」の概要を説明しますと、事業の目的は「原爆被爆により、肉体的、精神的に大打撃を受けた被爆者のうち、老いたる者、傷つき病める人達の社会復帰を願い、且つ豊

かな老後をおくるための施設を設置する」ものであります。

(入所費用は無料です。)

設置場所は西彼杵郡西彼町上岳郷字松川内一六六三番地で、収容定員五〇名です。施設整備費は二億五千万円で内一億三千万円が日本小型自動車振興会の公益補助金で、九千九百九十一万円が県費補助金として受けることに内定しており、自己負担金は二千万円です。但し運営費として別に七百万円自己資金として必要です。

建設期間は五十四年度中で、入所開始年月日は昭和五十五年四月一日からです。

尚この特別養護ホームの特色としては入所者が老人だけに限定されなく、若い人でも入所することが出来ます。更にこの施設には入所者以外の一般郡部被爆委員のために、入浴施設を設置するとともに按摩、針灸が出来る様計画致しておりますので会員皆様の多数の御利用を期待しております。

追伸

六〇〇坪という広大な敷地のため、桜を千本ばかり植えて、千本桜を作り、長崎市の平和公園で花見シーズンとなると、市民の非難を受けている人々が行楽に来て、心おきなく、桜を眺められるように配慮し又、被爆者の相談事業を実施する計画をもっております。



## 長崎の鐘 第1号 (長崎市平和公園)

原爆33回忌を迎えた昭和52年7月落成したものであって、原爆殉難者の冥福と世界の恒久平和を祈念して作製したものです。

### 除幕式

昭和52年8月5日

なお式典には、諸谷市長をはじめ被爆者1000名が参列して盛大に開催されました。



## 長崎の鐘 第2号 (ソ連邦・レニングラード市)

反戦・反核・日ソ友好を記念し、1998年8月9日、レニングラード市へ寄贈されました。除幕式には日本から安田田長をはじめ122名が出席、地元カリーニン地区から3000名を超える市民が参加し、両国の代表がテープカットを行い、日ソ友好、日ソ不戦を誓い合いました。

なお、当日は長崎市の平和公園において、同時刻に平和集会が開催され、労働者・被爆者・市民が多数参加し、有意義な連帯集会となりました。

レニングラード市は、第2次世界戦でナチスドイツ軍に900日間も包囲され、60万人市民が戦争の犠牲になり、長崎同様甚大な犠牲を受けた都市です。

### 贈呈式

1998年8月9日  
日本代表団122名(長崎24名)出席



## 長崎の鐘 第3号 (中国・瀋陽市)

日本軍が中国侵略を開始した柳条湖事件の地である瀋陽市へ寄贈されました。

1990年9月18日、市内の青年公園で除幕式が開催され、当日は長崎から近藤市長をはじめ85名が出席しました。

侵略行為を市民の立場から、謝罪するとともに、日中友好、日中不戦の誓いを固め、その後日中の参加者がスクラムを組み、市内をデモ行進し、歴史的な式典となりました。

さらに、瀋陽市のほか北京、上海市を訪問して中国人民との交流を深め、特に北京での人民大会堂における英学謙副首相との会談や、釣魚台国賓館における大歓迎パーティは圧巻でした。

### 贈呈式

1990年9月18日  
「中国平和の旅」代表団 85名出席



## 長崎の鐘 第4号 (ハワイ州・ホノルル市)

日米開戦の発端となり、真珠湾攻撃(1941年)の舞台となったパールハーバーへ。

1990年12月8日(現地時間12月7日)、ホノルル市級折模のシビックセンターで除幕式が開催されました。

長崎から62名の代表が出席、地元からはハワイ州知事をはじめホノルル市の反核市民活動家などが、多数参加し、日米親善・世界平和・反核・不戦を誓い合い、成功のうちに終了しました。

「長崎の鐘」は、川野市長からマニ市長へ寄贈されました。

### 贈呈式

1990年12月8日  
「12.8 反戦の旅」代表団 62名出席



## 宇都宮徳馬先生に 友の会平和賞授賞式

とき 平成元年十二月二日十二時から  
ところ 平野町宝来軒別館

### 宇都宮徳馬先生とは

こんな人です!!

宇都宮先生は今年八十三才で東京都の生れだそうです。祖父は佐賀藩の藩士だったそうです。

たしか父は陸軍大将で、その息子である宇都宮先生が反核・平和の道を歩いておられるので、あらあらと思っていたのです。それ故にきつと戦争の空しさを知っておられるのかも知れない。

選挙区は東京都で衆議院議員に十回連続当選されております。それが反核・平和を求めてやまない高邁なる理念故に自民党を離党されて、現在無所属となられ参議院議員をつとめられてお

ります。

世が世ならば衆議院議長とか総理大臣となられても決しておかしくない器量の持ち主です。

先日、参議院議員会館でお会いしましたところなんと素朴な人だろうか、淡々として反核・平和の道、日中、日ソ親善の必要性を説かれる姿は、人生枯れはてて聖者の域に達している人だと思ったところでした。

又同行の矢上支部長西川徳馬さんと俺と同じ名前だところこばれて何度も握手されるなど、人間的に親しみを感ずる人でもありました。

反核・平和の道を歩んだばかりにすべての名誉職を投げ打って、ひたすら吾が道を行く先生こそが、友の会平和賞にふさわしい人だと思ひ決定した次第です。

今日、日中友好協会会長、核軍縮を求める二十二人委員会の座長として被爆者援護法制定にかける情熱は、長崎・広島国会議員をたじたとさせるところのものです。

先生どうぞ長生きをして下さい。そして反核・平和の道を行く若者に適切な助言をお願いします。

## 友の会平和賞に 具島兼三郎先生

友の会としては、平和運動に実践した人を顕彰するためにかねてから構想を練っておったわけですが。

なにか政府、公共団体から表彰される人間はとみると、ときの政府・役所に迎合しておべんちゃら云う人が選ばれている現実を見るにつけ、私達庶民の手でこれを実現したいと思っております。

ノーベル賞についてすら最近はおかしいな、と思うこともあったわけですが。

このような考えのもとで人選を急いでいたところ、具島先生が身近におられました。

先生は日・独・伊三国防共協定に反対されて満州国において投獄され、三年に亘るいわゆる臭い飯を喰べられたのでした。

しかも戦後におかれましては、平和と民主主義を守る戦いに率先されておりました。

又、長大学長として戦災復興に力を尽され、長崎市民のアイドルとしていろんな会合にも出席され、良きアドバイスをされておりました。

私達、友の会のささやかな表彰を先生が受けて頂くだろうかと心配しましたが、ころよくお引き受けて頂きました。

あらためて先生の器量の大きさを知ったわけですが。

具島先生も齢八十を越えられておりますが、実にかくしゃくとして大きな声で講演をされております。

どうか先生、長生きをして下さい。

末筆ながら平和賞受賞の条件は、権力者に媚びらず常に庶民の味方となって平和運動に率先垂範した人となっております。

## 第4回友の会平和賞

杉原千畝氏

戦争とは、人をして狂人とならしめることであると思えます。よくもあの人があのようなことができたものと、戦争が過ぎ去ってから、ふり返ってみると、とんでもないことをやっていることです。

杉原千畝さんの話を聞いたのは、たしか数ヶ月前の衛生放送だったと思います。いや立派な人もいたもんだなあとの感想でした。その時は敗戦後の日本で外交官の職業を辞めさせられていたことも知らなかったのです。

このたび鈴木宗夫政務次官のはからいで名譽回復が行なわれたと聞いて、外務省と云う役所はなんたることだと……あらためて認識したところです。

外務省と、日本外交と云えばビントの外れた外交をするところだと国民の大多数が思っているところです。当時をふり返ってみると、日、独、伊、の三国協定で日本外交はナチスドイツに迎合していたころの話です。ドイツを追はれた難民六、〇〇〇人はリトアニアからソ連邦を通過して逃げなければ他に方法がなかったのです。

そのとき、日本の外務省は例によって、ビザ発行中止指令

を出していたのは、当時の状況を知るものにとつては当然のことであつたらう。

しかしながら、杉本千畝代理領事は敢然として、ビザを発給したのでした。その数六、〇〇〇人とも云われています。そのためにユダヤ人が救われたのでした。今日の平和なときにおいて杉原代理領事の行為はと考えてみると非戦士員である人達を戦禍を避けさせるための行動について協力することは当然なことであると思うのだが……私どもは杉原代理領事の行動は、権力者にこびらず庶民の味方となって平和運動に率先垂範した人と云う。友の会平和賞の理念に適切な人であると思ひ決定した次第です。

杉原さんは一、九八六年今から5年前86才で亡なられたそうです。奥様の杉原幸子さんは、存命中でしたら主人もさぞよろこんだでしょうに、と残念がっておられました。

自宅

杉原 幸子 (78才)

## 友の会の平和賞

— 森滝市郎先生とは —

艱難、汝を玉にすると言ふ言葉があるが、森滝市郎先生は昭和二十年八月六日、広島市に投下された原子爆弾によって片目を失明されました。

動員学徒を引率されての事故でこのことが残りの人生の全てを被爆者運動、核兵器廃絶の運動を捧げられた動機となつたわけでした。昭和三十八年、核実験の一部停止でこれまでの原水禁運動が分裂したときも、いかなる国、いかなる理由を問わず、核実験に反対すると云う、日本原水禁国民会議に身を投じ、爾来三十年近く同会議の代表委員として八十九才の今日まで頑張っている国宝的存在である。

この人こそが具島兼三郎、宇都宮徳馬先生に次いで友の会第三回、平和賞受賞者として最もふさわしい人である。

友の会平和賞は、権力者に媚びず常に庶民の味方となって平和運動を実践した人と規定されておりますので念の為、申し添えておきます。

第二回友の会平和賞授賞式は、平成二年十二月一日、長崎市平野町、宝来軒別館において執行しました。

# 第六回友の会平和賞

現住所  
氏名 岩崎 和佳子

あなたは、眼科医としてバヌアツ島におもむき、眼疾患に苦しむ多数の患者の治療を十年間に亘ってなされたことは、私ども被爆者手帳友の会の基本的な理念に全く合致するところだ。私どもはこの行為に対して「友の会平和賞」を贈り、エールの交換を致したいとおもいます。どうか、岩崎和佳子先生のご多幸とご健勝を祈念し、ここに平和賞を贈ります。

平成五年十二月八日

長崎県被爆者手帳友の会

会長 深堀 勝 一

## 解説

ある夜のことでした。テレビを見ていたところ、南の眼科医のいないところで十年間に亘って、無料奉仕をしている。日本人の医師が放映されておりました。私は、かねがね、どんなに医学が進歩しても、又、医師の数が増加しても、奉仕するという心がけの医師がいない限り、人間は幸福になることはないと思っておりました。

岩崎和佳子先生こそが、私の願望に叶った医師だと思い、第六回友の会平和賞を贈ることに致しました。

## 友の会平和賞の歴史

### 設立の趣旨

権力者にこびず、常に庶民の見方となって平和運動に実践したるもの。

第一回友の会平和賞 昭和六十三年十二月二日

具島 兼三郎氏

元長大学長

第二回友の会平和賞 平成元年十二月二日

宇都宮 徳馬氏

前参議院議員

国際軍縮議員連盟会長

第三回友の会平和賞 平成二年十二月一日

森 滝 市郎氏

原水禁代表委員

第四回友の会平和賞 平成三年十二月七日

杉原 千畝氏

元リトアニア総領事

## 第五回友の会平和賞

初村滝一郎さん

初村先生は県会議員四期をされ昭和四十五年三月、参議院議員に当選され、それから平成四年七月まで二十数年の間、原爆被爆者の処遇改善、原爆病院の建設、原爆特養ホームかめだけの建設など、こと原爆に関することはすべて初村先生の手で解

決されたのでした。初村先生が国会議員に就任された頃には、国家の被爆者対策

費が僅かに二十八億円でした。それが平成四年度の国家予算が千三百六十六億円と、この数字が初村先生の奮闘を如実に示しているものと思います。

被爆者対策を今日振り返って見ますと、他の戦争犠牲者に比べて私ども被爆者は一定の水準以上の援護対策が施行されているものと思えます。勿論、初村先生をサポートされた白浜先生、田口長次郎先生の名前も私も被爆者は忘れることのできない存在でした。

最後に、今後の初村先生のご健闘ご健勝を祈り、第五回友の会平和賞と決定した次第です。

平成四年九月一日

長崎県被爆者手帳友の会 会長 深堀 勝 一

## オ7回 友の会平和賞

### ◎ 杉山 千佐子

#### 全国戦災傷害者連絡会会長

私達友の会が、杉山 千佐子さんを知ったのは、全国戦争犠牲者大会をひらこうとしていたときのことです。

昭和56年5月5日だったかと思います。

会長の私と竹馬さんが名古屋市に彼女を訪ねたわけでした。そのときのことです。昭和56年8月7日、長崎新聞文化ホールで、全国ではじめて全国戦争犠牲者、国策補償要求大会がひらかれました。

杉山さんは、20名ばかりの仲間をつれて参加して頂きました。

そのときは、全国から沖縄をはじめ老千名の人達が参加して頂き盛大なる大会となりました。

それから、杉山さんとは良きパートナーとして、国会陳情などを共同実行してまいりました。

杉山さんは、ひたむきな人で、常に戦争犠牲者のために働かれています。

このたび、友の会平和賞に決定したのは、当然なことでもしろおそすぎた感じですが。

## オ7回友の会平和賞 日本山妙法寺

長崎市 坂本1丁目8-29  
長崎県被爆者手帳友の会  
会長 深堀 勝一

### 1、趣 旨

私達 友の会が、30年に亘って平和運動を 実行して来ました。

平和賞は、平和運動を 実践する 団体、個人は、財政的にも、地域社会においても、世の中の 偏見と斗いながら、懸命なる 努力を 続けられております。

そこで、この中において、特に 熱心なる 団体、個人に対して、その 労苦に 報いる ためにも、世間の人に、知らしむる 必要がある と思ったのでした。

### 2、オ7回 友の会平和賞は、日本山妙法寺と 決定しました。

私ども 平和運動団体としては、これを 世の中に 紹介する 必要もないくらい 真面目で 真んしな 団体です。

ただ、敬意を表する ところです。私 が 知り合ってから 40年目にも なりますが、平和運動のお手本だ と思います。

### 3、日 時

と き、 平成8年12月8日 午前11時30分  
と ころ、 長崎市 岡町 平和公園

### 4、行事の あらまし

平成8年12月8日(日) 午前 11時30分  
原爆殉難者に 黙祷を捧げ、世界平和の 達成を祈願する。

その後、日本山妙法寺の20名の僧侶と共に被爆者230名が 平和公園から、爆心地公園を通り、平和行進を続けて、原爆資料館 前の 空来軒別館に 到着する。

そこで12時00分から 式典を行う。式典の所要時間は40分とします。

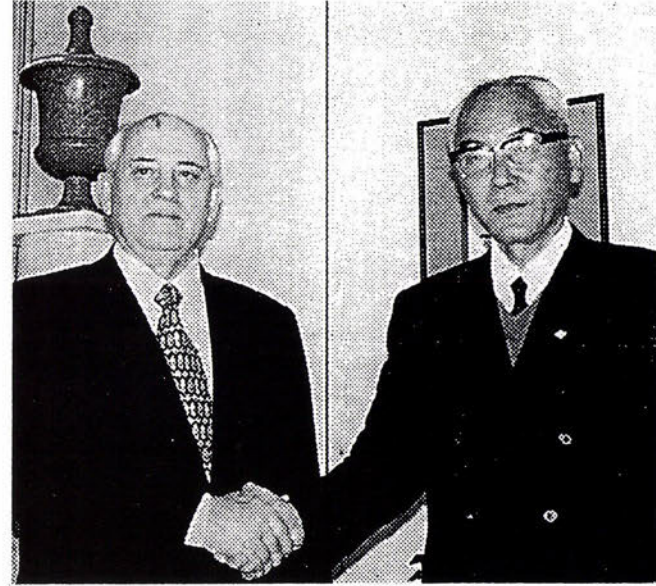
式典終了後は、式典参加者250名による 被爆宴を実施します。

### 5、友の会平和賞授賞者の 資格 (下記の通り)

### 6、これまでの 授賞者の プロフィール (下記の通り)

# 第8回 ゴルバチョフ氏に 友の会が平和賞

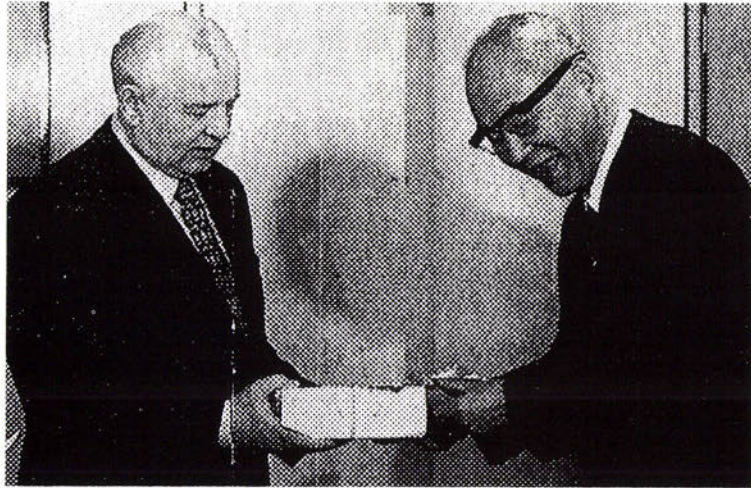
## 福岡で深堀会長が授与



授賞式でゴルバチョフ氏＝左＝と握手する深堀会長。＝福岡市内のホテル＝

【福岡支社】県被爆者手帳友の会の深堀勝一会長は十四日、平和運動への功勞者に贈る「米田正利平和記念賞」(旧「友の会平和賞」)

をゴルバチョフ元ソ連大統領に授与した。同賞授与は八人目。外国人ではゴルバチョフ氏が初めて。同氏は福岡市内で開かれ



を贈った。写真は「友の会」

は毎年、平和に貢献した人物に平和賞を贈っており、八回目。ゴルバチョフ氏への授賞理由として、東西冷戦を終結させ、核戦争におののく人類の将来にほのかな光明を見いだした、などの点を挙げている。

たフォーラムに出席のため来福。授賞式で深堀会長が「東西冷戦の終結を導き、人類の将来にほのかな光明を見いだすことができたのは、あなたの高邁(こうまい)な理想と豊かな人間性による最高の殊勲である」と述べ、賞状と本県特産のべっ甲製品の記念品、副賞として百万円を手渡した。ゴルバチョフ氏は「受賞を心から感謝するとともに、長崎県民すべての方々にお礼を申し上げたい。かつてのソ連の指導者として世界に示した原則や立場を堅持していくことで、これからの責任もひしひしと感じている」とお礼の言葉を述べた。

ゴルビーに「平和賞」

長崎県被爆者手帳友の会(深堀勝一会長)は十四日、福岡市内で、来日中のゴルバチョフ旧ソ連元大統領に平和賞と副賞の百万円

ゴルバチョフ氏は「うれしいだけでなく、今後の責任もひしひしと感じる。一九九一年に長崎市を訪問した際に受けた深い印象を、人々に伝えていくことを誓う」と述べた。

# 空白の20時間

—原爆被爆惨状絵図—

発行日 平成9年6月1日

発行者 長崎県被爆者手帳友の会

会長 深堀 勝一



(不許複製・非売品)





